



藤井寺市観光ボランティアの会

美陵ガイドクラブ会報



〒583-8583 藤井寺市岡1-1-1(藤井寺市役所 6階 藤井寺市観光協会内)

TEL:072-939-1086 FAX:072-936-9777

URL:http://www.fujiidera-kanko.info/volunteer/volunteer_top.html

第8号 2011年12月

第32回 藤井寺市民まつり(しゅらまつり)に参加して

9月18日(日)

メインステージ 「修羅大王の古墳みこし」



私達観光ボランティアの会では、今年も市民まつりに参加しました。

メインステージでは、市民の皆さんに古市古墳群を世界遺産にと「修羅大王の古墳みこし」を製作し、会場を訪れた子供たちに呼びかけて、みこしに乗った古墳に形象埴輪や円筒埴輪を飾ってもらい、古墳を完成させる試みに挑戦しました。当日は、前日までの雨と打ってかわって、真夏並みの炎天下のもと、たくさんの子供たちがステージ上での古墳作りに参加してくれました。また、太子町のたいし君や羽曳野市のたける君が応援に駆けつけてくれ、我が藤井寺市のまなり君と共に「まぼらキャララ隊」を結成して古墳作りに参加してくれました。

古墳完成後は、参加者全員で「古市古墳群を世界遺産に！」と大声で市民にアピールし、エイエイオーのかけ声とともに、子供たちと記念写真に収まりました。(樽野)



古墳みこし作り



灼熱の日も、台風の余波の大雨の日も、「みこし作り」に取り組みました。みこし作りには株式会社緒方工務店様、山田紙管株式会社様、大同紙工業株式会社様のご協力を得て立派なみこしができました。難しかった円筒部は会長のアイデアで出来ました。

さあ本番、運動場に運ぶと思いのほか重かった。舞台では大勢の子供さんが、我先にと形象埴輪や円筒埴輪を次々と持ってこられ、大賑わいに大感激。多くの人に参加していただいたため、予定以上の埴輪を飾ってもらい無事終了しました。しゅらまつりに最初から最後まで参加させていただき、久しぶりに祭を楽しませ貰いました。(清瀧)

テントブース 「割り箸ハンドゲーム」「松ぼっくりの人形作り」「紙芝居」

テーブルには当会員の可愛い作品が置かれ、新しい黄色のユニホームを着た会員が朝早くから活気を与えていました。若いお母さんや子供さん達がたくさん訪れて、小さい子供さんには会員が手助けするなど、皆さんが笑顔で仲良く作品を作りました。出来上がりを見て嬉しそうなおみや満足そうな顔。「わ！ かわいい」とのぞき見た中学生も……。年配の方も作った人形で孫と一緒に楽しみたいと言っておられました。間伐材やエコ材料などを利用し、出来上がりも可愛くて温かみもあると評判でした。また「民話の紙芝居」も親子で楽しそうに見ていただき、一日中お客さんの途絶えることのないテントブースでした。(西内)



小学校の校外学習（藤井寺南小学校4/22 道明寺東小学校6/3 道明寺南小学校6/9）

今年は3校の小学校の校外学習に私達観光ボランティアがお手伝いをしました。

今年が初めての藤井寺南小学校は、事前学習とオリエンティングという遊びの要素を入れながら、郷土が誇る古市古墳群を学びました。道明寺南小学校は、校区内の天満宮、道明寺、そして新しく応神天皇陵古墳も加え、生徒達がワークシートをもって巡りました。道明寺東小学校は、フィールドワークコースに沿った史跡・寺社・古墳・世界遺産に関する内容で、前もって事前学習がありました。

3校の生徒達は、いづれも学習意欲が高く熱心で、様々な問いかけに対しても反応が良く、好奇心いっぱいのいきいきとした目が印象的でした。今まで知らなかった所や遊び場でしかなかった寺社・史跡・古墳が歴史的に貴重なものであること、自分達の住む町の素晴らしさに気付いたこと、神社やお寺のお詣りには、それぞれマナーがあることなど多くを学んだようです。

私達も藤井寺市の未来を担う子供達に有効なお手伝いができ感無量です。
(メルツ)

藤井寺南小学校



道明寺南小学校



道明寺東小学校



現地研修に参加して 「佐紀古墳群」 9月22日(木)

「佐紀盾列古墳群」は40前半～50前半に築造された西群と、前方部がすべて南向きに揃っている東群からなり、その中央部は平城宮跡という万葉の香り漂うコースである。東群ウワナベ古墳から2班に分かれてスタート。コナベ古墳、磐之媛命御陵、陪塚を周る。稲の緑となだらかな山並みを望み、美しいハジカミ池や水上池では、堤に休んでいた野鳥たちが我々の気配に慌てて池に逃げ入る微笑ましい体験も。野鳥たちにもここは“まほろば”の地なのでしょう。

平城天皇陵の前方部は存在せず、平城宮跡の柱跡地に石で輪郭がひっそりと記されている。大極殿を横目に大和三山を遥かに眺め、隆光大僧正墓石から佐紀神社に立ち寄り、いよいよ西群へ。瓢箪山古墳、八幡神社、孝謙天皇陵、日葉酢媛命陵、成務天皇陵、最後に近鉄京都線の線路を越えて神功皇后陵に至る。佐紀盾列古墳群では陵墓の名称変更が多く、私としては目が点に。ただ日常の喧騒を忘れるほど、土地の持つ時空を超えた“まほろば”感は言葉では到底表現出来ない素晴らしい現地研修でした。(植木)

写真は神功皇后陵



秋季ウォーク「藤井寺ロマンの旅」 新人ガイド奮闘記 10月29日(土)

「観光ボランティアの会」に入会して半年が経ち、今日が記念すべきデビュー戦。「津堂城山古墳」の定点ガイドを担当することになり、久方振りの猛勉強？をしたけれど、いざ始めると、ポイントを纏めるのにも一苦労(二苦労)どうにか資料を作成し、いざ本番突入！で～す。13時を過ぎ最初の班が到着。参加者を見渡してからいよいよスタート！最初の班から途切れることなく3班続いた時は喉がカラカラとなり、漸く4班目から自分のペースでガイドができたのかな？と一安心。参加者が頷いてくれたり、拍手をしてくれたり、「有難う」の一言を頂いたり…この瞬間は最高の気分！！

ガイドをやって良かった！最終のガイドが終了し、班の最後尾に付いてゴールの藤本酒造へ。皆さんこれを楽しみに完歩されたのか、私達も集合し笑い声もあちこちで。

喜んで頂けた案内ができたか分かりませんが、次回はもっと頑張ろうと思った一日にでした。(中村)



第16回 福祉まつり

11月13日(日)



当日の朝は少し肌寒かったのですが、会場の4階では、全員が新調の黄色のベストを着て汗ばむほどでした。期待通り沢山の子ども達で大賑わいでした。小さな子供には少し難しいかなと思われるぬりえも一生懸命塗ってくれました。お土産の粗品を真剣に選び、指人形の“ちょうちょ”も喜んで貰えたと思います。また、紙芝居は、新作の「池の中からでてきた仏さん」を加え、全4作品になりました。今まではぬりえの終わった子供達に、焦点を合わせて紙芝居をしていましたが、今回は子供達を待っているお母さんや、家族の人達にも見てもらいました。物語の場所の説明も、とてもよく納得された様子で聞いていただいたと思います。子供たちの嬉しそうなお顔が一番の喜びでした。(廣瀬)



池のなかからでてきた仏さん



健康ウォーキング

11月18日(金)

藤井寺市セカンドライフ課との共催ウォークでシユラホールに集合。出発時は天気予報通りに雨がポツポツ。参加者18名、市から3名、当会から4名の合計25名でのウォークです。参加者は女性のほうが多く、若い人もおられました。

雨は早々にやみ、時間はたっぷりです市内の方々という気やすさもあり、ガイド内容もついつい横道に。でも参加者には好評の様子。みんなで気軽な散歩を楽しんだといった体で道明寺にて散会しました。(岩崎)



沼杉(落羽松)ってどんな木？

ウォークの途中で沼杉を見つけました。場所は仁賢天皇陵古墳の横の下田池です。樹の形はメタセコイアと似ていますが、湿地に自生するので呼吸を補うために、根から「気根」を直立させています。

「気根」は仏像みたくて、一樹から多数出ているので、まるで五百羅漢のようです。

興味のある方は是非出かけて見てください。冬期が良く見えます。春になると葦が生えて見えにくくなりますが、すべて落葉した枝から鳥の羽状の若葉が芽ばえとても愛らしいです。



(近藤)

《上半期ガイド実施結果》

平成23年度上半期(4月～9月)のガイド活動の結果は次のとおりでした。

実施件数は16件で、計316人の方々を案内しました。市内の団体は3件139人、市外の団体は13件177人でした。遠くは埼玉県、愛知県など関東、中部からのお客様もありました。昨年同時期の2件、116人に比べて大幅に増加した理由のひとつとしてある団体の幹事さんが、「去年は“平城遷都1300年”の催しに奈良へ行ったが、今年は古市・百舌鳥古墳群が世界遺産登録国内暫定リストに登録されたので」と言われたことが挙げられそうです。会員ガイド従事者数は計25人(延べ43人)を数えました。(ガイド部)

堺観光ボランティア協会との交流会

NPO法人堺観光ボランティア協会の会員36名が、当会との交流を兼ねて藤井寺を訪問、当会員11名がお迎えしました。

午前中の見学では3班に別れて行動し、土師ノ里周辺の古墳を案内、特に古室山古墳では登頂し、前方後円墳の形態を体験して頂きました。昼食を共にしながら和気あいあいの内、様々の意見交換ができ、本当に良い交流の機会を持つことが出来ました。

午後は道明寺天満宮の宮司さんの講話の後、応神天皇陵古墳、仲哀天皇陵古墳を経てシュラホールへ。

堺の皆さんからは「本当に満足にいくツアーだった」「おもてなしの心を学ばせてもらった」等々、異口同音に感謝とおほめの言葉を頂きました。また私達も堺の皆さんのマナーの良さに驚き、お手本にしなければならないと実感しました。

来春1月には私達が堺を訪れ更に親睦を深め、今後は共に「百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録」を目指して協力していきたいと思えます。（増元）

百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録に向けて(8)

日本武尊白鳥陵古墳

羽曳野丘陵東麓から舌状に延びる中位段丘上に立地する墳丘長 190m・三段築成の前方後円墳で、前方幅が後円径の約 1.5 倍あり、前方部が後円部より 3m高いなど後期古墳の様相を呈する。

墳丘の周囲には幅 30～50mの濠が回り、幅 20mの堤体の外には当墳を区画する幅 4.5mの溝に囲まれる。

濠の両側には造り出しが設けられているが、南側のものは洗掘により極めて貧弱である。未発掘のため、主体部の内容などは不明であるが、墳丘後円部には10cm間隔で樹立する埴輪列が認められた。本墳は竹之内街道沿いの原型を良く保存した整美な古墳で、冬季に濠内を水鳥が泳ぐ姿はその容姿によく似合い、優雅な一幅の絵とまごう。当墳には「日本武尊伝説」が付き纏うが出土品の比較検討から5世紀後葉に築造されたものと推定され、伝説とは合致しない。（伝記は記紀を参照）（寺田）



（写真提供 羽曳野市教育委員会）